



< 活動の担い手について >

会長 小倉 一夫

過日、「北区地区社協連絡会」が開催されました。この中で情報交換が行われ、「地区社協活動の担い手確保の困難さ」が話題となりました。地区社協は自治会や民生児童委員、多くのボランティアグループなどにより組織され活動していますが、新しい活動の担い手の確保に多くの地区で苦勞している様子が報告されました。各地区ともに夫々のおかれた環境と状況の中で知恵を絞り、努力をしている状況が伝わると同時に、苦心している様子も共通していたように感じました。従来からこの課題は常に提起されてきていますが、「自分達の活動を地域の皆さんに知って頂くことが重要である」との認識は共有しつつもそこからなかなか前に進んで行けないように感じます。これまでの活動の視点を変えて見直すことができるか、先進地区の活動を参考にできるかがカギになるのではないかと思います。



2021(令和3)年度 三方原地区社協相談役の挨拶



晩秋の候、三方原地区住民の皆様には、日頃より自治会活動並びに三方原地区社会福祉協議会の活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は地区社協の設立時より小倉現会長と共に地区社協の役員となりました。現在も当地区社協の主要メンバーである自治会長、民生児童委員などと共に先進地区の視察、福祉講演会などに参加し、地域福祉に係わることの大切さを学んできました。

是非、多くの方々に地区社協の活動にご協力を頂ければと思います。

最後に、皆様のご多幸ご健康をお祈り申し上げ挨拶とします。

相談役、北区・三方原地区自治会連合会会長
加茂 哲夫



昨年、今年と新型コロナが猛威を振るい、大変な二年となりました。各地のお祭りも中止が相次ぎ、「子供達が可哀想だな」と思います。この感染症の嫌な所は、家族間に於いても気を遣わせる事です。一番大切な人の命に拘わる事なので、皆が一体となって終息させる努力をする事だと思います。政治や人の所為に行っている様ではいけないと思います。温暖化の問題も心配です。雨の予報と同時に土砂災害の警報が出るのは不気味です。この先は住む場所を選ぶ様な事になるかもしれません。人は生きていく上で互いに自助、共助、公助を信じて日々生きる事が大切です。常日頃、三方原地区社会福祉協議会の皆様のご活躍に心から感謝申し上げます。

相談役、浜松北地域新交通システム推進協議会会長
中川 秀三

相談役、浜松北地域新交通システム推進協議会会長
中川 秀三



～～～ 本号の内容 ～～～

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1面 ▶ 三方原地区社協 会長挨拶 | 3面 ▶ 福祉交流部会「LINEの勉強会」 |
| 1面 ▶ 三方原地区社協 相談役の挨拶 | 3面 ▶ ホームページについて |
| 2面 ▶ 浜松市社協 CSWについて | 4面 ▶ 「家事支援みかたはら」関連 |
| 3面 ▶ 三ヶ日地区社協「家事支援」研修訪問 | 4面 ▶ 編集後記 |

三方原地区社協
QRコード



社会福祉法人浜松市社会福祉協議会とは・・・

地域の住民やボランティア、福祉・保健等の関係者、行政機関などの協力を得て福祉のまちづくりを目指す民間の組織です。「住み慣れたまちで暮らし続けたい」だれもが抱くこんな思いを実現するために地域の様々な団体等と連携・協働をし、共助による地域福祉を推進しています。三方原地区社会福祉協議会が第1次地域福祉活動計画で定めた「ささえ合い、助け合うまち“三方原”」の活動目標のもと、円滑に活動が広がっていくよう連携・協働をしています。

CSW (コミュニティソーシャルワーカー) とは・・・

地域の人々の困りごとのなかには、既存の制度では支援が難しい制度の隙間にあたる問題も存在します。そのため、たらい回しのような事態が生じないように、人々の悩みに耳を傾け適切な支援先につなげる役割を担っています。浜松市社会福祉協議会では市内に15名のCSWが選任をされ活動を行っています。

浜松市社会福祉協議会のCSWには主に3つの役割があります。

- 個別支援
福祉の相談窓口として地域の皆さんの悩みをくみ取り、その人に必要なサービスや専門機関へとつなげます。どこに相談してよいか分からないときはCSWにご相談ください。
- 地域支援
地域の居場所づくりなど各地区からの要望を実現するため、関係機関や団体などへの働きかけやコーディネートを行います。住民の皆さんによる支え合いの活動をお手伝いします。
- 仕組みづくり
関係機関と連携して、現状の制度では対応できない課題に対する新たな仕組みづくりに取り組みます。



初生・三方原地区を担当しているCSWの三室勇樹です。よろしくお願いします。新型コロナウイルスの影響で、それまで実施をして来たサロンなど、地域で行う集まりの開催が難しい状況が続いています。

「身体はソーシャルディスタンス！でも心は密に！」地域の皆さんで気かけ合いながら、コロナ禍を乗り越えていきましょう。

地域のつながりを絶やさない為に、今出来る取り組みについて私たちも一緒に考えて活動していきます。

「地域で何か活動をしてみたい！！」
「困りごとがあるけどどこに相談すればいいのか分からない！」・・・そんな時は浜松市社会福祉協議会までぜひご相談ください。



社会福祉法人浜松市社会福祉協議会
北地区センター

〒431-1305
浜松市北区細江町気賀4581
細江介護予防センター内

TEL: 053-527-2941
FAX: 053-527-2945

浜松市社会福祉協議会ホームページ
<http://www.hamamatsu-syakyou.jp/>



三ヶ日地区社協が「家事支援」で研修訪問



久米 康恵さん 中嶋 豊子さん 石原 和代さん



過日は、家事支援事業について視察研修させていただきました。ありがとうございました。

三ヶ日地区社協の状況は7月12日の役員会を経て家事支援事業の準備委員会を作る段階に入りました。同時に福祉アンケートも行っているので協力員がどの位集まるか楽しみです。私たちは出来ない事も沢山ありますが困っている方が居れば少しでも寄り添いたいと思います。又地区社協の中で活動出来る事に、家族と仲間たちに感謝しながら活動をして行きたいと思っています。



三ヶ日地区社協 支援・配食部 久米 康恵



＜エールを送ります＞

家事支援部会長 嶋田 博

“今まで自分で出来てきたことが出来なくなってしまって（歯がゆい）・・・”と、特に草取りを依頼される方からお聞きします。久米さんの言われる通り困っている方に寄り添っていただける家事支援ができるよう、三方原地区社協は三ヶ日の皆さんを応援しています。



「高齢者につながる機会に」と言う思いから《LINE》の普及を！！

LINEの勉強会

令和3年9月28日、辻村幸則氏、富永厚平氏を講師に迎え、福祉交流部会員14名が学びました。今後の展開として、LINEを使っただけの気軽な「連絡網の整備」「安否確認」「寂しさ・孤独の回避」などが出来るようにしていきたいと思ひます。

福祉交流部会：サロン活動委員会



参加者の感想

スマホを持っていましたが、LINEは使用していませんでした。個々のレベルに応じて対応してくれたので、分かりやすく参加できました。早速、旧友から「LINEデビューですね」と連絡が来ました。各部会の連絡・調整等にも便利ですし、高齢者のコミュニケーションの道具としても活用できそうです。



東三方町
民生児童委員
疋田 和俊

ホームページについて

当地区社協は、昨年9月より開設準備をスタートさせ、多くの方々にご協力をいただき2021年4月1日にホームページを開設いたしました。当ホームページは、当地区社協の6部会を中心に構成され「見やすく、わかりやすく」をモットーに多くの皆さんに見ていただける様に心掛けています。

本年7月に第1回目、10月に2回目の更新を行いました。これからも3ヶ月毎の定期更新を基本に、随時新しい情報を地域の皆さんにお届けしながら、内容の充実に向けていきたいと思ひます。

運営管理者 松本 順二





コロナ禍でもご要望に応じています！

三方原地区社協 家事支援部会

1回目の緊急事態宣言時は家事支援の受付を一時停止しました。2回目以降については、通常の受付を継続しゴミ出し、草取り、買い物支援などは依頼人と協力員の了解を得て支援を継続して来ました。

支援実績回数

家事支援をご利用
できる方

	ゴミ出し	衣類運び	草取り	室内清掃	その他	計
7月	29	13	28	5	2	77
8月	9	14	3	1	1	28
9月	13	13	33	1	1	61
計	51	40	64	7	4	166

- ① 高齢の方（原則 65 歳以上）
- ② 障がい者又はそのご家族
- ③ 子育て中（小学生）のご家族

お断りすることが
ある場合

若い方と同居している方

近くに親族のいる方

協力員の声

- * “「ありがとうございました」の言葉に疲れもとれます”
- * “他の協力員と作業や会話ができ、友達になれます”
- * “自分もいずれ自宅の草取りなどお願いしたいので、今は支援する側にいます”
- * “健康維持のために、空いた時間にお手伝いします”



協力員の現状

男性 22 名・女性 21 名
計 43 名

- * 地域によって片寄りがあります。（下表参照）
- * 9月に会社を退職された2名が参加されました。みんなで大歓迎です。
- * 地域参加、健康作り、仲間作りのためにも協力員登録を呼びかけています。

協力員の自治会別 男女別人数

校区	豊 岡							三 方 原			初 生	計
	自治会	三幸	大原	豊岡	百園	東三方	根洗	清水	三方原	三南	百里園	
男	1	0	1	1	1	7	0	4	2	3	2	22
女	2	2	1	0	2	3	1	4	1	1	4	21
計	3	2	2	1	3	10	1	8	3	4	6	43



シンボルマーク “繋がる”



6月25日協力員研修会（内容）

- * 家事支援の経験交流
- * 「認知症サポーター養成講座」の受講
- * 交流・お楽しみ手品



ボランティア募集

大歓迎！協力員

連絡先 ★三方原協働センターボランティアルーム

(☎) 053-439-0865 毎週火曜日 9時～12時

★家事支援部会長 嶋田 博 090-4261-8779



編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、日常生活のスタイルも一変してしまいました。多くの活動と行事が自粛や中止になり、寂しい思いをしてきましたが、ワクチン接種が進み、治療薬の開発も進んでいます。寒い冬から春になってゆっくと雪が解けるように、私達にも暖かい希望の春が来ることを願っています。

～広報部会～ 松本 順二